

製剤別 標準製剤との比較データ

2025年4月

	後発品	標準製剤												
販売元会社名	岩城製薬株式会社													
商品名	ベタメタゾン吉草酸エステル軟膏0.12%「イワキ」													
薬価	8.50円／g	16.90円／g												
成分・規格	1g中 日局 ベタメタゾン吉草酸エステル 1.2mg (0.12%)													
薬効分類名	副腎皮質ホルモン外用剤													
効能・効果	湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む)、皮膚そう痒症、痒疹群(じん麻疹様苔癬、ストロフルス、固定じん麻疹を含む)、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、光沢苔癬、毛孔性紅色皰糠疹、ジベルバラ色皰糠疹、紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑)、紅皮症(悪性リンパ腫による紅皮症を含む)、慢性円板状エリテマトーデス、薬疹・中毒疹、円形脱毛症(悪性を含む)、熱傷(瘢痕、ケロイドを含む)、凍瘡、天疱瘡群、ジューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡を含む)、痔核、鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創													
用法・用量	通常1日1～数回適量を患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。													
添加物	流動パラフィン、白色ワセリン(抗酸化剤としてジブチルヒドロキシルエンを含む)、ミリスチン酸イソプロピル	流動パラフィン、白色ワセリン												
製品の外観	乳白色の油性の軟膏で、においはほとんどない。	白色～微黄色、半透明のなめらかな半固体である。(軟膏)												
製剤特性	(1)ベタメタゾン吉草酸エステルの局所抗炎症効果はStrongである。 (アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024) (2)白色ワセリンを主体とした主薬分散型の軟膏剤である。 ※診療報酬上の後発医薬品に該当し、一般名処方加算1,2、後発医薬品の各種体制加算に該当します。													
標準製剤との同等性	ベタメタゾン吉草酸エステル軟膏0.12%「イワキ」の塩化ピクリル接触皮膚炎に対する作用(マウス n=10) <table><thead><tr><th></th><th>薬剤塗布 1 時間後の耳介浮腫率(%)</th><th>接触性皮膚炎抑制率(%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>薬剤無塗布群</td><td>152.7±8.0</td><td>—</td></tr><tr><td>試験製剤</td><td>22.4±3.0</td><td>85.3</td></tr><tr><td>標準製剤</td><td>22.0±2.1</td><td>85.6</td></tr></tbody></table>			薬剤塗布 1 時間後の耳介浮腫率(%)	接触性皮膚炎抑制率(%)	薬剤無塗布群	152.7±8.0	—	試験製剤	22.4±3.0	85.3	標準製剤	22.0±2.1	85.6
	薬剤塗布 1 時間後の耳介浮腫率(%)	接触性皮膚炎抑制率(%)												
薬剤無塗布群	152.7±8.0	—												
試験製剤	22.4±3.0	85.3												
標準製剤	22.0±2.1	85.6												
安定性	3年(室温保存)	4年(室温保存)												
包装	5g×10、5g×50、10g×50、500g	5g×10、5g×50、10g×50、200g												